



山形県の古木・名木 No.129

川西町洲島のサイカチ (かわにしまちすのしまのさいかち)

川西町大字洲島

川西町洲島にある県内最大級のサイカチの巨樹。サイカチのある小沼(おぬま)家は伊達家に仕える武士であったが、伊達氏が岩出山城に移封されたとき随わず、この地に土着した。このサイカチは、武士であったころに「勝」にちなんで植えられたという伝承がある。同様の言い伝えは岩手県内のサイカチの巨樹にも伝えられている。サイカチは、莢(さや)にサポニンを多く含み古来より洗剤として利用されてきた有用樹木で、城郭に植えられることが多かった。山形市の霞城公園にもサイカチの巨樹が何本かあり、このコーナーで紹介したことがある。

昭和62年4月27日川西町の天然記念物に指定。目通り幹周6m、枝張り17m、樹高15m、主幹は枯損しているが堂々たる巨樹である。
〔山形県森林協会〕

〔森林やまがた No.188号(2020年7月)掲載〕



サイカチの幹に生じた鋭い棘



